

令和4年度 大学生の力を活用した集落復興支援事業 実施報告書



専修大学 商学部 渡邊隆彦ゼミ

福島県喜多方市高郷町磐見地割行政区

目次

1. はじめに
 - 1-1 活動背景
2. 地割集落データ
 - 2-1 集落位置
 - 2-2 集落風景
 - 2-3 地割集落の人口
 - 2-4 地割集落の年代別人口
3. 調査概要
 - 3-1 活動目的
 - 3-2 活動内容紹介
4. 調査スケジュール
 - 4-1 一回目
 - 4-2 二回目
5. 調査結果
 - 5-1 地割集落の現状
 - 5-2 地割集落の課題
6. 提案
7. 今後について

1. はじめに

限界集落は、人口の50%以上が65歳以上で、農業用水や森林、道路の維持管理、冠婚葬祭などの共同生活を維持することが限界に近づきつつある集落のことである。2015年の国土交通省の調査では、今後10年以内に消滅する恐れがあると予測される集落は570あり、いずれ消滅する恐れがあるとみられる集落と合わせると、過疎地域全体の4.8% (3,614集落) になる。このように日本の少子高齢化・過疎化の進行を止めるためにできることを模索していくことが重要であると考え、行動していく。

1-1 活動背景

2022年1月頃にゼミナールの合宿にて、喜多方市を訪れ、地割集落の方々との交流を通して、地割集落の方々や地域支援員の方々から、強い要望と地割集落の魅力や集落の人々の人柄や優しさに触れる中で私たち自身が集落の人々を助けたいと考え生まれ、福島県の集落活性化プロジェクトに参加したのも「人」「自然」「地域」がどのような形を迎えて行くのがよいのか、実際に現地での声を聞いて少しでも役立てることがあるならば、と考えたからだ。今回、大学生の力を活用した集落復興支援事業に参加し、地割集落の方々とマッチングし、活動することとなった。

2. 地割集落データ

2-1 集落位置

福島県喜多方市高郷町地割行政区
最寄り駅：山都駅（約6.6km）車で11分

2-2 集落風景



2-3 地割集落の人口

	世帯数	人口	男	女
福島県	793, 136	1852, 207	909, 166	943, 041
喜多方市	16, 138	44, 199	21, 226	22, 973
高郷町	595	1, 621	770	851
地割集落	14	34	19	15

2-4 地割集落の年代別人口（2021/10/1）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
男	1			4	2	8	4	
女	1	1		2	1	3	3	4
計	2	1		6	3	11	7	4
比率	5.8	2.9		17.6	8.8	32.3	20.5	11.7

3. 調査概要

3-1 活動目的

テーマ：「知る・体験する」

今年度の活動は、「知る・体験する」をテーマとし、活動してきました。

私たちは今年度から初めて地割集落に行き、情報がないところから始めた。

そのため、情報把握が不十分な状態で施策や案を打つのでは意味がないと考え、中長期的に見て、一年間の集落の状況を知り、その目で見えて実際に集落で行う行事を体験することに今年度は集中することとした。

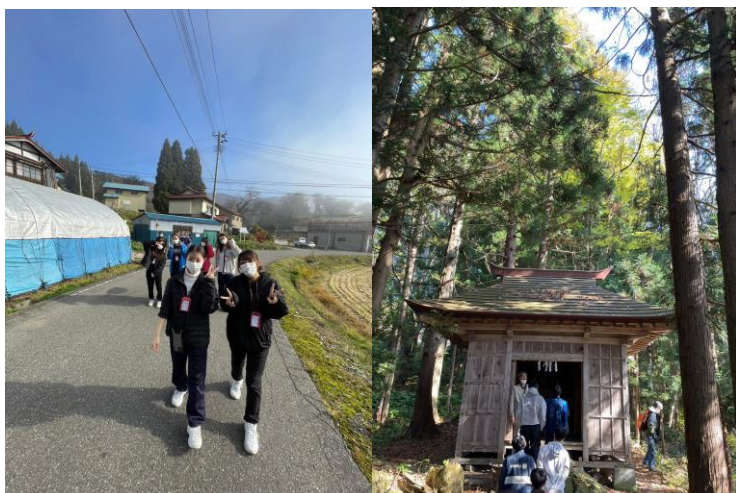
まずは活動拠点として、下記の写真に写っている集落内にある空き家を借り、数日間に渡って実態調査に取り組んだ。



3-2 活動内容紹介

活動内容としては、以下の通りだ。

- ・地割集落住民の方々にインタビュー&集落探索



・ニジマス釣り



・地割集落住民の方々と食事



・みしらず柿作り



・蕎麦打ち体験



・雪囲い体験



- ・ナメコ採集



- ・インタビュー結果をもとに訪問メンバーと話し合い
- ・現地調査結果を報告&施策提案

4. 調査スケジュール

4-1 1回目：9月3日（土）～5日（月）

1回目の現地調査は、集落の実態を理解することを目的とした。集落周辺の散策や集落住民へのインタビューを行い、集落の現状を把握し、課題を整理した。また、懇親会や夕食作りなどの交流を通して、今後の活動に向けて集落の方と良好な関係を築くことができた。

9月3日（土）

- 15：30 集落に到着→現地の人と顔合わせ
- 15：30～18：00 集落周辺の散策
- 18：00～20：00 懇親会（場所：ふれあいランド高郷）

9月4日（日）

- 9：00～12：00 集落の方へのインタビュー調査
- 12：30～14：30 集落の方と昼食作り→昼食
- 14：30～15：30 小休憩
- 15：30～17：30 ニジマス釣り体験
- 17：30～19：00 夕食作り
- 19：00～20：30 夕食

9月5日（月）

- 9：00～11：00 集落の方へ活動結果を報告

→集落の現状と課題を報告、今後の活動方針の提案

11：00～12：00 集落周辺の動画撮影

12：00 集落出発

4-2 2回目：11月11日（金）～11月13日（日）

2回目の現地調査は、集落の「魅力」を体験し、知ることを目的とした。来年度の実証活動に向けて、関係人口を増やすために集落外部の人へアピールできるものを模索した。その中で、自然を感じられる体験やそば打ち体験が魅力的だと感じた。そのため、来年度はこれらの体験イベントの開催を進めていく予定だ。

11月11日（金）

22：00 集落到着

→次の日の活動のために現地入り

11月12日（土）

10：00～11：00 雪囲い体験

11：00～12：00 なめこ採集体験

12：00～13：00 昼食作り→昼食

13：30～14：30 ニジマス釣り体験

14：30～15：30 みしらず柿作り

16：00～18：00 夕食作り

19：00～21：00 夕食

11月13日（日）

10：00～12：00 そば打ち体験

12：00～13：00 昼食

13：00～14：00 活動報告

14：00 集落出発

5. 調査結果

5-1 地割集落の現状

1人や、自然、文化、歴史など多様な観光資源がある

→優しい人、印象の残る人が多い

農作物などの商品を卸して販売している

2住民たちは地域活性化に対する熱量に差がある

→集落の高齢化や働き手の不足という問題に対して、諦めている方もいる。

3 情報発信が乏しい

- 広告が紙で張り紙のみ
- 有名な観光地以外の地域の情報発信が少なく、差が大きい
- 交通手段が自家用車orタクシーで行くしかない

4 後継者問題

- 「このままやっていて意味があるのだろうか」という住民の声
- 地割集落に残る若者が少なく、後継者不足が問題

5 冬は積雪により、できないことが多い

- 積雪により、作物が育たない、外出も危ない時期がある。

5-2 地割集落の課題

1 後継者不足、後継者の別居、集落放棄

跡継ぎがないため、自分の代で終わりにするつもりが生産者が存在

今後特産品として売り出すことが危うい

ex) お盆に開催の蛍を見るナイトウォーク、バーベキュー、
ニジマス釣りなどのイベント、他集落合同の収穫祭などのイベント、
農家の農産物の収益化

2 情報発信の乏しさ情報発信の乏しさ

- SNSが主流の今、ホームページを始めTwitterやInstagramなどの更新をこまめにする必要がある。
- 人々の注目が集まり、集客につながる。

6. 提案

今後の地域活性化の方針として、移住者を増やすのは難しいと考えるため、今の集落を盛り上げ、楽しい場所だと知ってもらい、遊びに来てもらえるようにしようと考えた。

そのため、秋（10月～11月頃）新規イベント開催を検討。冬の積雪により、何もできなくなる前にイベントを打ち、参加してくれる人のためにも雪に困らないようにこの時期に開催すべきだと考えた。企画内容として検討しているのは夏頃のイベントで行われたニジマス釣りや新しくそば打ち体験などを開催し、子供にも楽しんでもらいつつ、自然の素晴らしさを感じてもらい、楽しんでもらえるようにと考えている。検討中であるため、集落の方々と話し合いを進め、さらに具体的にしていこうと考えてく。

1 SNSを活用して、地割集落の魅力やイベントの情報発信をしていく

→一人一台スマートフォンを持つ時代なので、積極的にSNSを更新していく必要がある。

→今後は他集落と合同でHPを作成し、定期情報発信を行う。集落ロゴの作成も検討中。

2 イベント開催

→小中学校と提携し、生徒に参加してもらう。

→観光地やイベント相互の情報提供や提携。

7. 今後について

今後の方針としては、夏頃に行ったイベント企画に参加してくれた人と、周辺地域の人々・関係者親族を対象に秋頃にイベントを開催し、地割集落の産業・自然・人の魅力を伝えよう動員しようと考えている。

また、今回は地割集落について知り、体験するのがメインだったが、集落の人々の生活を楽しく充実した生活を送れるよう、冬にできることを探していこうと考え、オンラインでの集落の方々との交流頻度を増やし、改善に努めていく。